

わがまち南街・中央・桜が丘支えあいを考える会

南街・桜が丘地域防災協議会本部

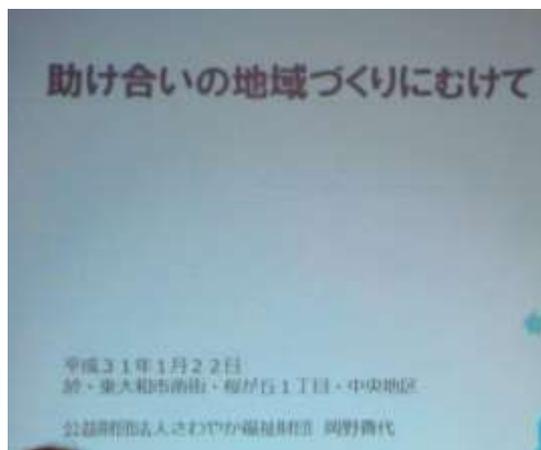
2019年03月19日

03月19日に南街公民館で「高齢者ほっと支援センターなんがい」主催で標題の会が開催されました。この会は「第2層生活支援コーディネーターの設置目的・役割」を主題として地域の高齢化に伴う、高齢者を含む地域の生活支援を行う多くのコーディネーターが必要となり、このコーディネーターを育成して、住民力の高い地域を創る為会議で01月22日の第一回、02月19日に第2回に引き続き03月19日に第3回目の目の勉強会が開催され、今回も約40名の参加があり、下記のレジメの内容に沿って主催側の説明及びグループワークの実施、その結果発表がされました。以下主要内容を報告致します。

司会；岡部様



さわやか福祉財団
岡野様



参加の皆様



わがまち南街・桜が丘1丁目・中央のささえあいを考える会(3回目)次第

日 時： 平成 31 年 3 月 19 日 (火)
午後 2 時 00 分 ~ 4 時 00 分

場 所： 南街公民館 202 号室

次 第：

1. 開会あいさつ

2. 前回の振り返り

東大和市高齢者ほっと支援センターなんがい
生活支援コーディネーター 岡部 誠

3. グループワーク

- ①必要な活動のうち、自分たちができる活動で、自分たちが地域に創り出したい活動の一つ選びましょう。その活動はどんな内容かグループで共有しましょう
- ②その「たすけあい活動」を実現するために誰が話し合いに参加してくれるといいですか

4. 発表・コメント

公益財団法人さわやか福祉財団 岡野貴代 氏

5. 閉会あいさつ

【配布資料】

- ① 次第(こちらの用紙です)
- ② 第 2 回目のグループワークで出た内容
- ③ アンケート

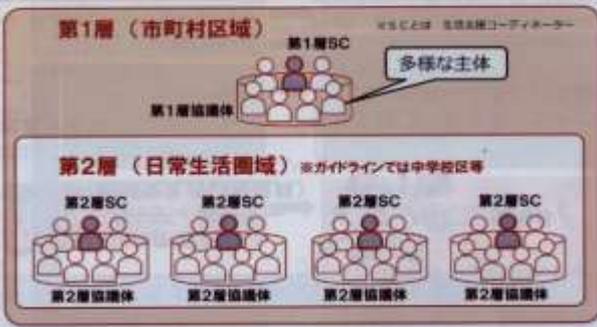
1. 前回の振り返り

今回のグループワークをスムーズに展開させる為、前回の講演及びグループワークの検討結果のおさらいを行いました。

1.1 関連団体の講演関連

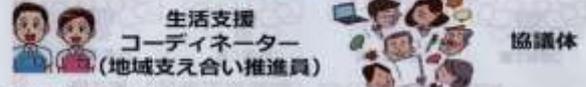
01月22日の第一回/第二回の勉強会で説明がありましたが、今回も確認の意味を含めその概要が改めて、「なぜ今、地域に助け合いが必要か」をテーマとして「公益財団法人さわやか福祉団体」より、下記資料を使用して地域における生活支援のコーディネーター及び組織育成の必要性について説明されました。(下記資料は使用された一部です)

協議体と生活支援コーディネーターの配置イメージ



目指す地域像の実現に向けた新しい制度の誕生

生活支援体制整備事業という地域の支え合いづくりを応援する人とチームが出来ました。



地域の支え合いを推進する人。

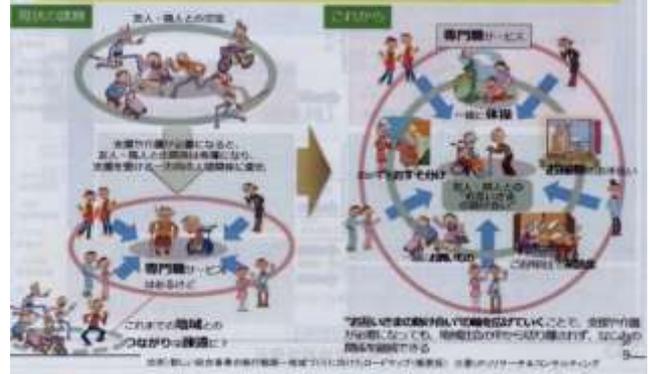
生活支援コーディネーターとともに、地域の支え合いを推進するチーム。

住民のみさんの“できる”“欲しい”“やりたい”を応援します。

社協、地域包括支援センターを中心に、多様な主体が集まる。



最後まで地域で暮らすには ~「お互いさま」の助け合いを広げましょう~



二次予防事業の実績の推移

二次予防事業への参加者数の目標を高齢者人口の5%を目安として取り進めてきたが、平成25年度の実績は0.8%と低調である。

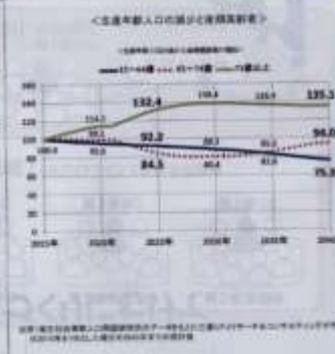
年度	高齢者人口 (20歳以上)	二次予防事業参加者数	参加率 (%)	目標 (%)
H10	46,764,472	—	—	0.0%
H11	47,487,195	—	—	0.0%
H12	48,291,987	38,776	0.08%	0.0%
H13	49,083,268	52,476	0.11%	0.0%
H14	49,866,130	54,276	0.11%	0.0%
H15	50,648,874	41,465	0.08%	0.0%
H16	51,431,618	41,465	0.08%	0.0%
H17	52,214,362	41,465	0.08%	0.0%

介護給付と保険料の推移

年度	介護給付 (円)	保険料 (円)	介護給付/保険料
2001年度	4,400	2,911	1.51
2002年度	4,400	2,911	1.51
2003年度	4,400	2,911	1.51
2004年度	4,400	2,911	1.51
2005年度	4,400	2,911	1.51
2006年度	4,400	2,911	1.51
2007年度	4,400	2,911	1.51
2008年度	4,400	2,911	1.51
2009年度	4,400	2,911	1.51
2010年度	4,400	2,911	1.51
2011年度	4,400	2,911	1.51
2012年度	4,400	2,911	1.51
2013年度	4,400	2,911	1.51
2014年度	4,400	2,911	1.51
2015年度	4,400	2,911	1.51
2016年度	4,400	2,911	1.51
2017年度	4,400	2,911	1.51
2018年度	4,400	2,911	1.51
2019年度	4,400	2,911	1.51
2020年度	4,400	2,911	1.51
2021年度	4,400	2,911	1.51

高齢者の生活支援ニーズ拡大と サービス担い手の不足

■今後の生活支援ニーズの拡大と人材不足
 ○今後、生活支援ニーズは拡大していく
 ○生活支援ニーズの増加に対してホームヘルパーを中心に介護人材が不足する
 ○中産層の在宅型介護者を支える人材も確保が必要



1.2 前回(第2回)グループワーク検討結果

前回各グループワーク検討結果のまとめは以下資料により主催者側から説明されました。

わがまち南街・桜が丘1丁目・中央のささえあいを考える会 2日目 グループワークまとめ	
テーマ①目指す地域像の実現に向けて、地域にはどんな課題がありますか？	テーマ②その課題を解決するために必要な活動はなんですか？
<p>1G</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣近所との挨拶に声がかかりにくい ・集会所の階段 ・「ひまわり」サークルの精神が生きている街 ・全員参加が課題 	
<p>2G</p> <ul style="list-style-type: none"> 人とのつながり <ul style="list-style-type: none"> ・近所の人との顔が分からない ・新しい転入者 ・夜間住民 無関心 <ul style="list-style-type: none"> ・つながりに関心を持たない人が多い ・地域住民のつながりの薄さ(希薄) ・自治会の反応が少ない 場所 <ul style="list-style-type: none"> ・地域に集う場所がない ・空き地・空き家が増える マンパワー不足 <ul style="list-style-type: none"> ・担い手の不足 ・老人ばかりの町が出来ると ・地域が高齢化している 	<p>行きたくなる お花通りを作る!!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2世帯に変え若い人を ・シェアハウスにする ・まち連とのコラボ <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会の行事の多様化 ・我が家を開放し多くのイベントをやる ・お茶会をする </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>集まる場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ趣味の集まり ・カフェ(無目的) ・協同農園 ・ガレージセール(不用品交換) </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民が出来ることをオープンにする ・共同作業を工夫 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>担い手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困り事お助け隊 ・情報のネットワーク構築 ・担い手養成講座 </div> </div>
<p>3G</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベンチが古い ・網がりがある ・図書館に学習室欲しい ・カフェがない ・タバコのポイ捨て ・資源ゴミ捨てのルールが守れない ・犬のフンの不始末 ・笑顔が不足 ・すれ違ってもあいさつが出来ないことがある ・高齢者が入浴したことが馬鹿で気付かなかった ・相触の窓口が限られる 	<p>街灯を増やす為の働きかけ</p> <p>自治会同士との交流</p> <p>魅力的なイベントの提案と開催 (あいさつ、簡菜、花見、バーベキュー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者男女が参加出来る集まり ・若者のコミュニティ作り ・自宅カフェの提供 ・定期的な市民による掃除 ・すれ違ったら必ずあいさつをするを広める ・医療人なども近所の茶話会に気軽に参加する ・どこに何があるか把握をする
<p>4G</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会の会員が少ない ・世代間のつながりが無い ・近隣のつきあいが無い ・子供会が無い ・孤立化している ・高齢者の自転車事故が多い ・高齢者が外に出ない交流が無い ・整形外科の減少 	<p>あいさつ運動</p> <p>一人暮らしの人の安否確認</p> <p>地域の回覧板の活用</p> <p>自治会活動報酬化</p> <p>市報以外にもサロン等の広報をする</p>
<p>5G</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多世代の交流の機会がない ・全ての年齢の方が参加出来る企画がない ・災害対策の充実 ・新・旧住民が知り合う場がない ・近所付き合いが薄い ・自治会参加率が低い ・自治会がない地域がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が出来る事を互いに出し合う ・その時に合ったニーズを考える ・あいさつをする ・地元のお店で茶話会 ・バーベキュー ・地域情報の交換 ・男の料理教室 ・ランドリーカフェ 新しい公共とサードプレイスを作る ・空力者の応募 ・登下校の見守り・声かけ
<p>6G</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他世代の交流をいかに進めるか？ ・顔を合わせる機会がない ・人見知りであいさつしない人が多い ・子供が安全に遊べる場所がない ・気楽に集まれる場所がない ・地域活動をする人がいつも同じ人 ・生活者の啓蒙 ・タバコのポイ捨てをする人がいる ・ペットの飼い方、犬の排泄物をそのままにする人がいる ・ゴミが落ちていても拾わない 	<p>交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いやり ・お互い様の気持ちを持つ ・気軽に集まれるカフェ(場所)を作る ・空き家の活用 ・受け入れる <p>やりちゃん</p> <p>おもいくん</p>

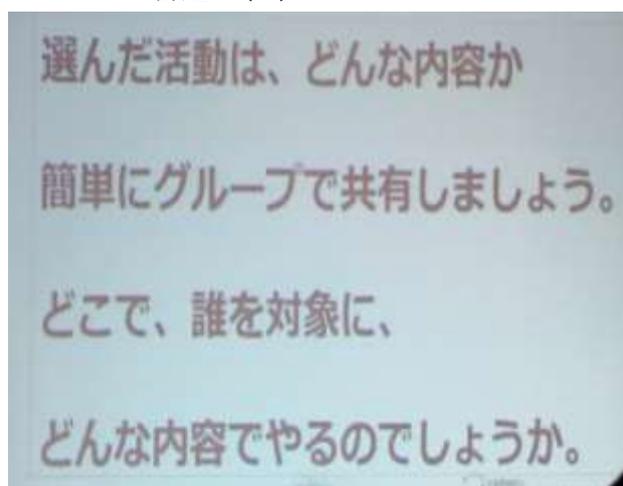
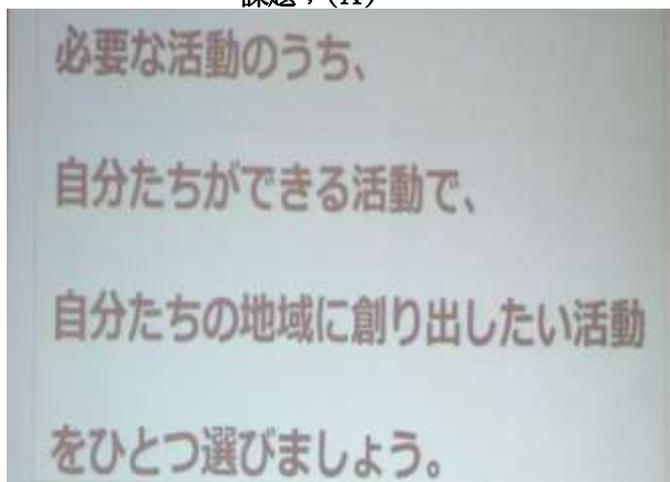
2. 今回のグループワーク

2.1 今回の課題

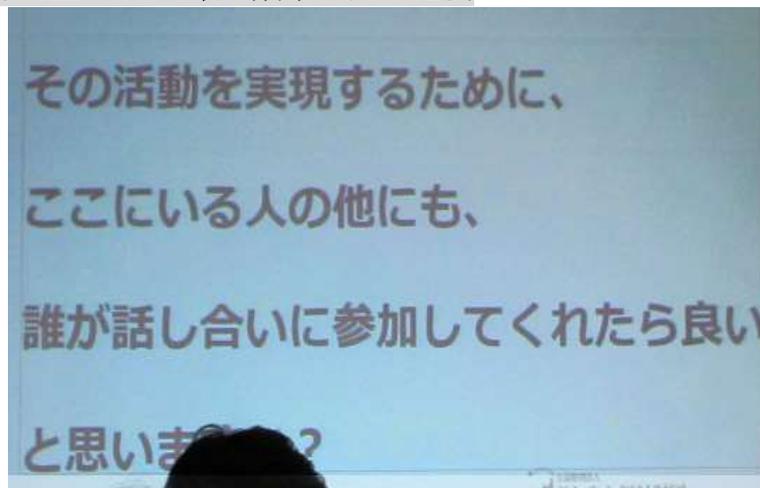
各グループは以下課題；(A)を選択してその結果に基づき課題；(B)でその展開について議論しました。議論は下記添付の資料の通りポストイット紙及び模造紙を使用してグループ内で議論／纏めを行いその結果を各グループの代表者が発表しました。各グループ独自の活動の創造が出来たと思います。

課題；(A)

課題；(B)



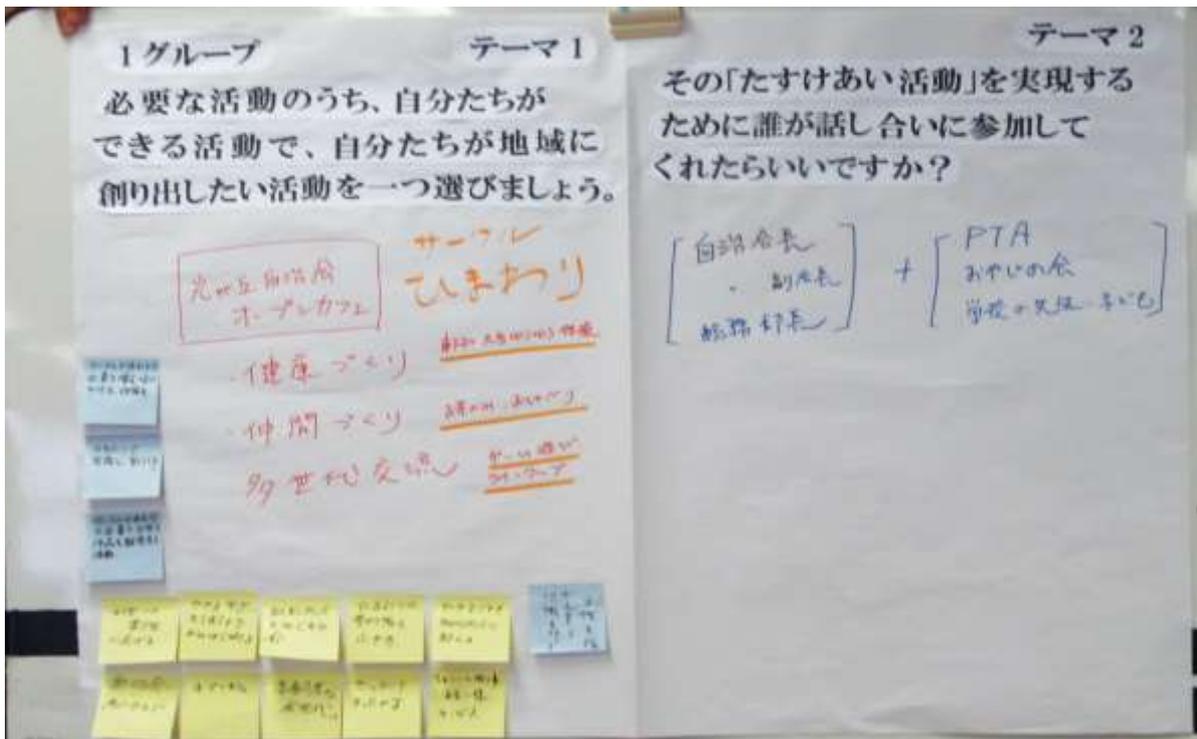
活動を生かせる地域の仲間づくりが必要



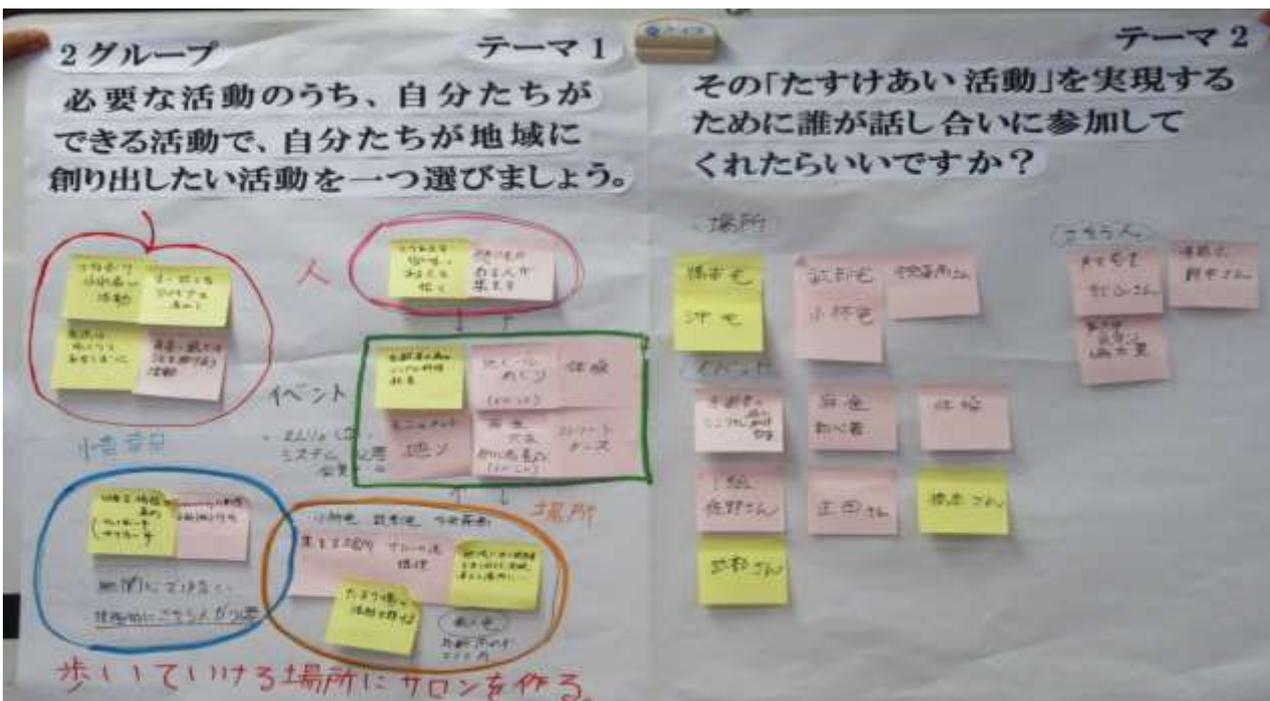
2.2 各グループのワーク及び発表状況

・第1グループ；現在のサロン活動の拡大展開





・ 第2グループ；サロン活動の場所の確保／情報収集

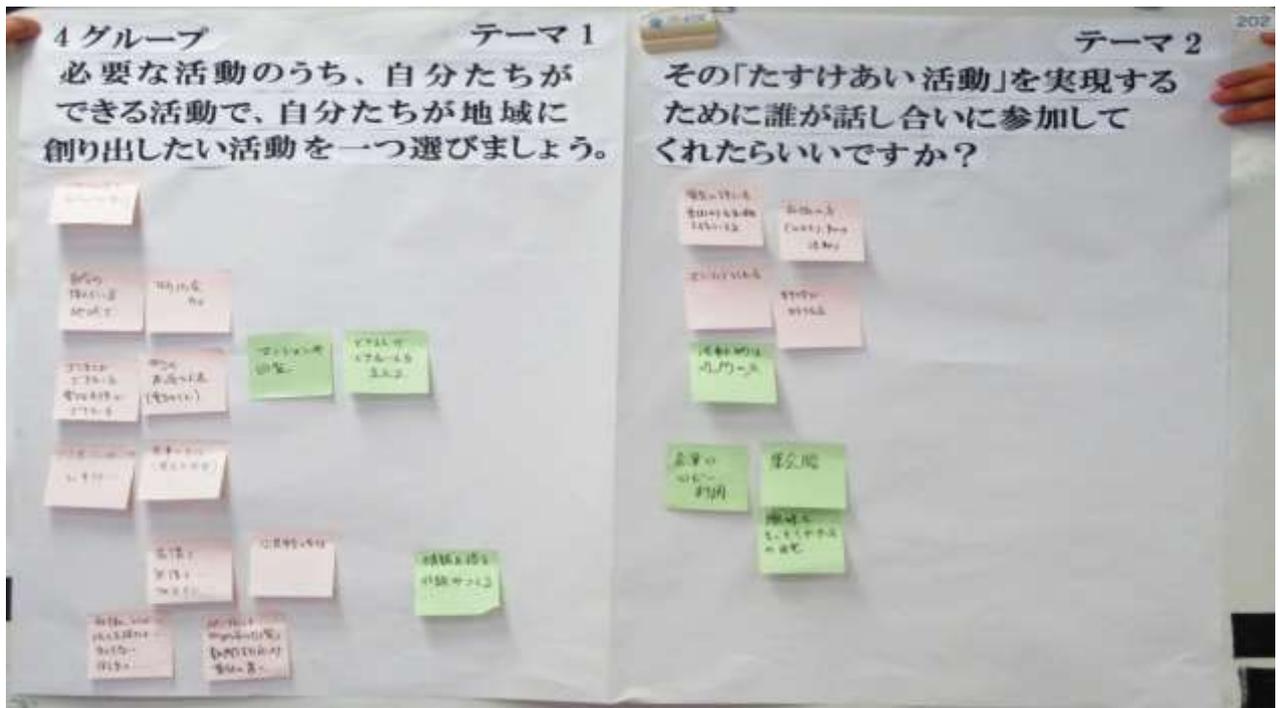


・ 第3グループ；多くの顔見知りが出る地域作り



・ 第4グループ；出来ない人を助ける地域造り





・ 第5グループ；こども食堂から地域食堂への展開



・ 第6グループ；無限につながる地域活動への展開



6グループ **テーマ1** **テーマ2**

**必要な活動のうち、自分たちが
できる活動で、自分たちが地域に
創り出したい活動の一つを選びましょう。**

**その「たすけあい活動」を実現する
ために誰が話し合いに参加して
くれたらいいですか？**

Handwritten notes and diagrams on a whiteboard. The left side (Theme 1) features several circles containing sticky notes with handwritten text such as "一緒に楽しむ", "おしゃべり", and "話し相手". The right side (Theme 2) features a central circle with sticky notes listing roles like "市長" (Mayor) and "自治会長" (Village Head), and another circle with "協力者" (Cooperator) and "協力者". A central diagram shows "戸建" (Detached house) and "マンション" (Mansion) with "100人定" (100 seats) and "100人定" (100 seats) respectively. At the bottom, the phrase "無限につながろう" (Let's connect infinitely) is written in red, accompanied by a drawing of a DNA double helix.

岡部様から3回の講座のまとめがありました



わがまち南街・中央・桜が丘 ささえあいを 考える会

隣近所との付き合いがない、困ったときに頼る人がいないなど、日常生活に不安を感じている高齢者等が増えています。高齢者一人一人を支えて行くためには、住民同士の助け合いによる支援が必要になります。助け上手・助けられ上手な人がたくさんいる地域になるように、「お互いさま」で支えあう地域づくりを一緒に考えてみませんか？

日時: 第1回 1月22日(火)

第2回 2月19日(火)

第3回 3月19日(火)

時間はいずれも14:00~16:00です

会場: 南街公民館 202号室

定員: 40名 申込み制

(3回とも出席出来る方を優先させていただきます)

対象: 南街、中央、桜が丘地域にお住まいの方、
また当該地域で活動されている方

※お申込み・お問い合わせ先※
東大和市高齢者ほっと支援センターなんがい

042-566-8133

担当課：高齢介護

協力：公益財団法人さわやか福祉財団

